

「防災特別授業を受けて」

一年二組 眞野 琴子

私は、今まで防災といわれると、地震のことばかりだったんですが、今日（12月8日）は、津波のことを学習して、津波の水は、海水だと思っ、てました。でも、黒くて、塩水じやなくてへんなにおいだというところに私は、始めてしりました。医者になりたいと言っ、ていたルマンダ君も8才の子を助けたり私は、防災で、人が人を助け合うことが大切だと思、います。津波だと、町がすべてが海のように見えたりルマンダ君は、約も時間近く海にいて、海から陸へ行こうとすると水がひいたりして、海の中で見つけたバスケットボールをうきに、して、陸の近くまで来て、やっぱり陸にいる人に助けてもらっ、たりして人の命がたすかる。

地震がスマトラ島で、起きたとき地震が起きる前と後を見ても、海岸の方がボロボロになっ、ていたし16万4千人の人が亡くなっ、てい

る。プレートとプレートによるものだから私たちがにはおさえることが出来ないけど、自分の命はし、かりと自分で守らないといけないと思いますなので今、自分に出来ることをすれば命を守れる総はと思いますみなさんどうですか。

私も、将来自分の夢を叶えるための最低限のものだと思っています。今日は、どうもありがとうございました。また、渚に来てください。